

障害理解研究

第 15 号

2014 年 3 月



原著論文

- 水野智美・徳田克己
：身体障害、発達障害の理解教育の段階モデルの提案・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 西館有沙・阿久津理・萩中泰弘
：総合的な学習の時間における視覚障害理解教育モデルの作成 2
－視覚障害者の生活の様子を伝える授業は子どもの認識に
どのような変化をもたらしたか－・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 坪見利香 : 発達障害に関する外来看護師の対応の困難さとコミュニケーション力・・・・・・・・ 21
- 小野綾花・水野智美
：就学時健康診断における養護教諭の発達障害児への気づきと支援に関する研究・・・ 29
- 八幡真由美 : 交通障害者である乳幼児連れの移動上のバリア
－子どもの遊び場におけるベビーカー使用者のバリアを中心に－・・・・・・・・ 39

実践報告

- 西館有沙・徳田克己
：中学校における発達障害理解を促す授業の実践
－自閉症スペクトラムにみられる「コミュニケーション上の困難」を
知る取り組み－・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

「障害理解研究」編集規程

1. 本誌は、日本障害理解学会の機関紙であって、1年に1巻発行する。
2. 本誌は、原則として本学会の会員のマイノリティ理解に関する論文の発表にあてる。
3. 本誌は、原著論文、実践報告、シンポジウム、展望、資料、文献紹介などの欄を設ける。
4. 原稿は、未だ他に公刊されないものに限る。
5. 原稿は、編集委員会の選考を経て掲載する。また、原稿に添削を加えることがある。ただし、大きな変更は、執筆者と相談する。
6. 印刷の体裁は、編集委員会に一任する。
7. 図・表など、特に費用を要するものは、執筆者の負担とする。また、別に定める掲載料を徴収する。
8. 本誌に掲載された論文は、無断で複製あるいは転載することを禁ずる。
9. 本誌の編集事務についての返信は、日本障害理解学会編集委員会（〒930-8555 富山県富山市五福 3940 富山大学人間発達科学部 西館有沙研究室内）で受けつける。

「障害理解研究」執筆要項

1. 論文の長さは、原則としてA4版40字×30行12枚までとする。
2. 原稿は横書きとし、提出後訂正を要しないように字句内容を明確にすること。
3. 叙述は科学論文にふさわしく、簡潔にし、図・表などを最小限にとどめ、本文と図・表の無意味な重複をさけること。
4. 図はそのまま製版できるように、きれいに作成すること。
5. 数字は算用数字を用いること。
6. 引用文献は論文の最後にアルファベット順に一括して付すること。
7. 論題、所属、氏名の英文を付すること。
8. 論文については英文の要約を付すること。要約の長さは原則として600語以内とするが、編集委員会が必要と認めた時はこれを越えても差しつかえない。
英文の要約は、次のようにする。
 - a. 必ず邦訳を添えること。
 - b. 英文に熟達した人の校閲を経ていること。
9. 原稿は、日本障害理解学会の事務局のメールアドレス（jsrikai@yahoo.co.jp）に宛てて送付すること。

編集委員

小野 聡子 (つくば国際短期大学)
金城 やす子 (名桜大学)
向後 礼子 (近畿大学) 常任編集委員
小林 朋子 (静岡大学)
西館 有沙 (富山大学) 編集委員長
富樫 美奈子 (つくば国際短期大学)
徳田 克己 (筑波大学)
松本 和久 (中部大学)
水野 智美 (筑波大学) 常任編集委員
吉岡 尚美 (東海大学)

編集幹事

安心院 朗子 (目白大学)
西村 実穂 (東洋大学)

障害理解研究 第15号

平成26年3月20日 印刷

平成26年3月25日 発行

発行者 日本障害理解学会

代表 金城やす子

〒905-8585

沖縄県名護市字為又 1220-1

名桜大学人間健康学部看護学科

TEL/FAX 0980(51)1275

印刷所 前田印刷株式会社筑波支店

〒305-0836

茨城県つくば市山中 152-4

TEL 029(875)6696

Understanding Special Needs

Vol.15

2014.3

CONTENTS

ARTICLES

- Tomomi MIZUNO, Katsumi TOKUDA
: Suggesting the Phase Model for the Education for Understanding Physical Disabilities and Developmental Disabilities 1
- Arisa NISHIDATE, Satoshi AKUTSU, Yasuhiro HATANAKA
: Educational Model for Understanding Vision Impairment during Periods of Integrated Study (2); Change in Awareness of Children from Understanding the Life of a Visually Impaired Person 9
- Rika TSUBOMI
: The Correspondence Difficulty related to Developmental Disabilities and Communication Skills for Outpatient Nurses 21
- Ayaka ONO, Tomomi MIZUNO
: Research related to *Yogo* Teacher's Awareness and Support of Children with Developmental Disorder in a Health Examination for Children Starting School Age 29
- Mayumi YAHATA
: Barriers While Moving with Infants as the Disadvantaged in Terms of Transportation with a Focus on Barriers for Buggy Users at the Children's Playground 39

REPORTS

- Arisa NISHIDATE, Katsumi TOKUDA
: Educational Practice of the Lesson for Understanding Developmental Disability in Junior High School: The Measure to know "the Difficulty on Communication" of Autism Spectrum 49